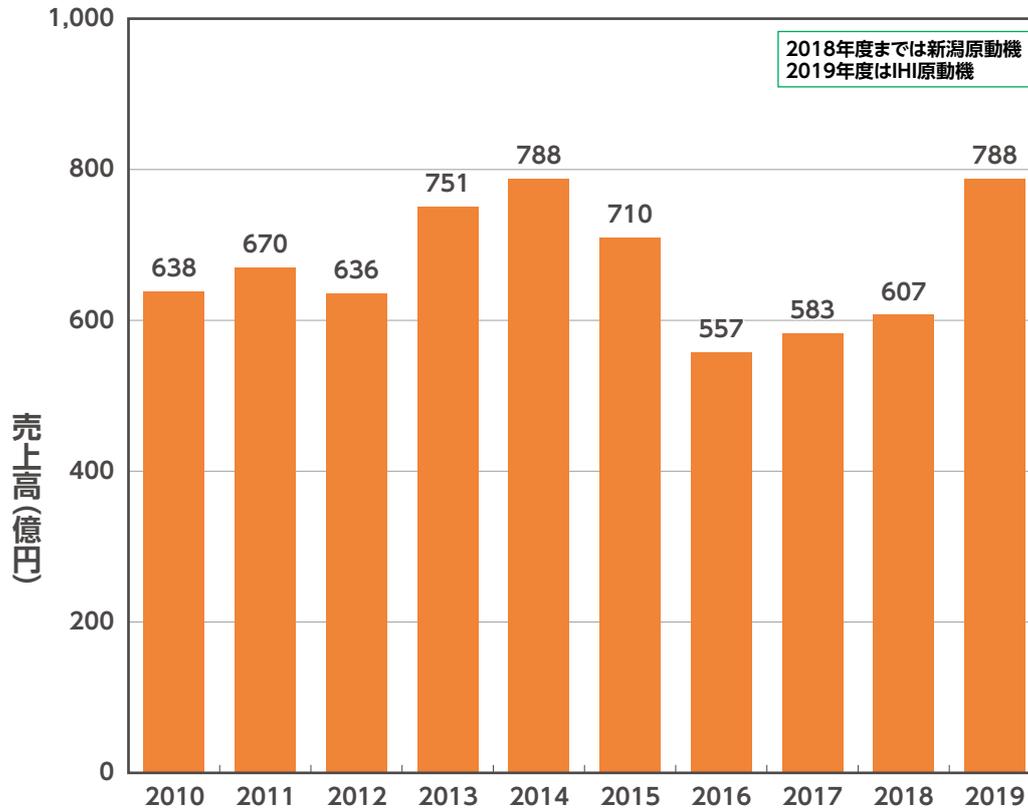


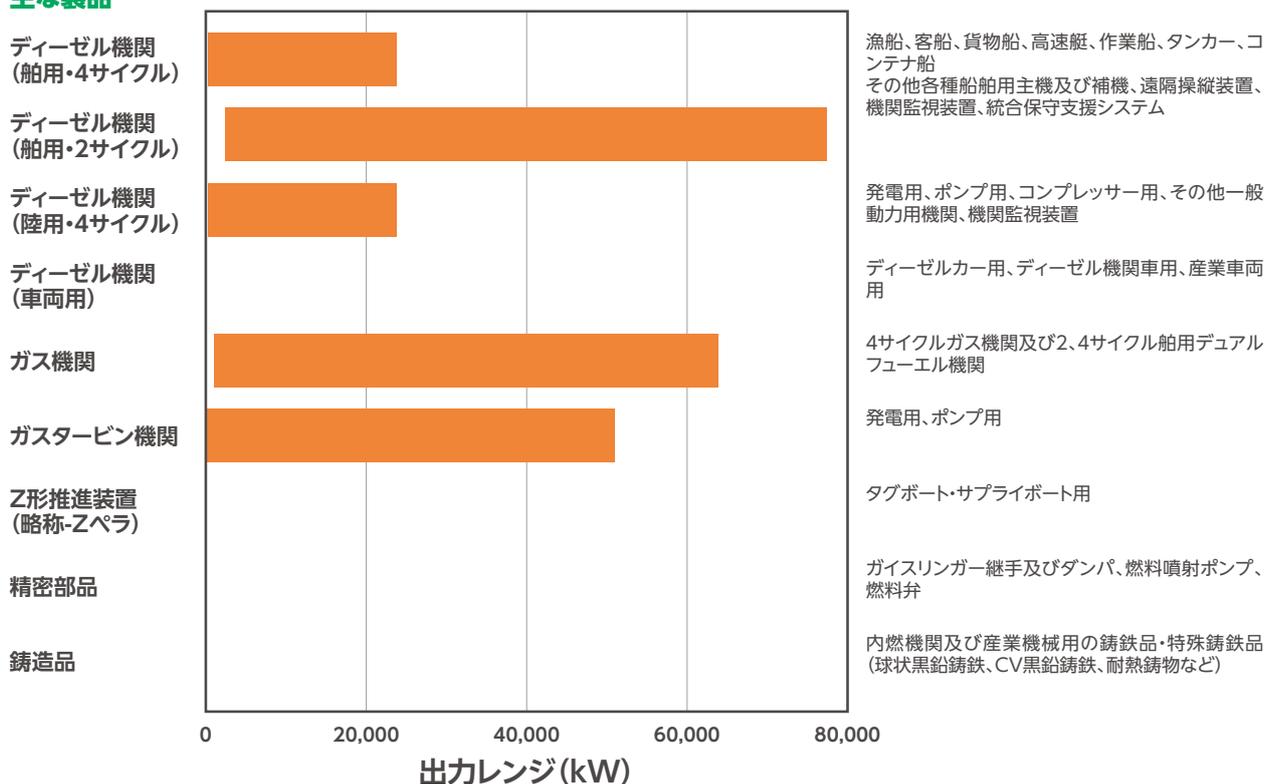
# 7 環境データ

## (1) 売上高(連結)の推移



## (2) 主な製品とその機関出力範囲

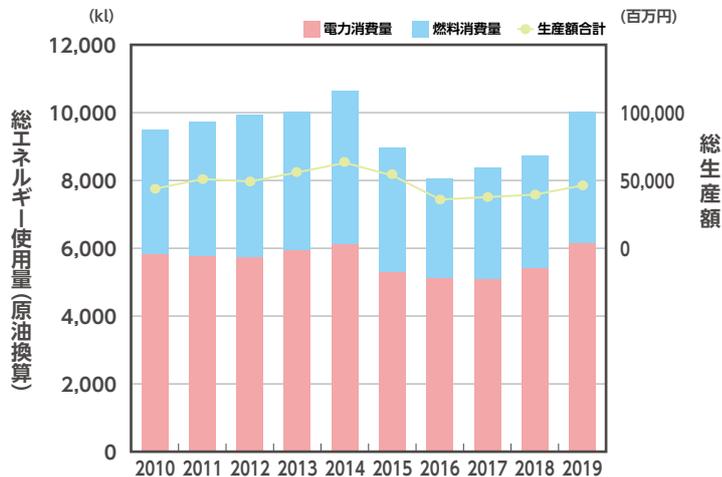
### 主な製品



### (3) 事業活動と環境のかかわりグラフ

#### 生産活動における環境負荷物質排出量の推移

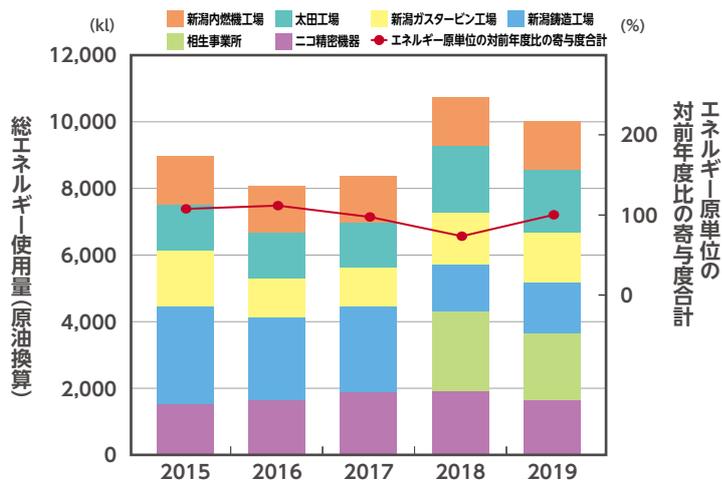
##### 総エネルギー使用量と総生産額の対比



総生産額は前年対比17%増加に伴い総エネルギー使用量は15%増加しました。引き続き省エネルギー活動に取り組んでいきます。

注)「総エネルギー使用量と総生産額の対比」グラフは、環境報告書2019 掲載時と割合が異なります。2018年度から、相生事業所(旧(株)ディーゼルユナイテッド)の値を含めて再算出しました。

##### 総エネルギー使用量とエネルギー原単位対前年度比



対前年度比の寄与度合計としては昨年度と同程度でした。2019年7月より統合した、相生事業所の生産活動など、生産量の増加が影響しました。

注)「総エネルギー使用量とエネルギー原単位対前年度比」グラフは、環境報告書2019 掲載時と割合が異なります。省エネ法に基づく定期報告書について、2020年提出時から、太田工場と新潟内燃機工場のエネルギー原単位の算出方法を変更しました。

##### 生産不要物発生量と生産額当たりの発生



全体の生産不要物発生量は増加しました。2019年7月より統合した、相生事業所の生産活動など、生産量の増加が影響しました。総生産額は前年度比増加しましたが、生産額当たりの発生量は減少となりました。

#### (4) 生産不要物の削減の取り組み

各工場の生産不要物のリサイクル目標達成に向けての2019年度の活動実績は下表の通りです。

	太田工場	新潟内燃機工場	新潟ガスタービン工場	新潟鑄造工場	相生事業所	ニコ精密機器
産業廃棄物 + 有価物量 (t)	901.9	638.0	192.5	1080.7	674.2	640.5
再資源化量 (t)	863.7	430.5	164.2	967.7	674.2	634.9
リサイクル率 (%)	95.8%	67.5%	85.3%	89.5%	100.0%	99.1%

#### (5) 化学物質管理

各工場の取扱量1t以上のPRTR対象物質は下表の8物質でありIHI原動機全体としての2019年度の実績は下表の通りです。

物質番号	CAS番号	化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量
438	1321-94-4	メチルナフタレン	21,446	107	—	—
87	—	クロム	11,085	15	—	7,444
80	1330-20-7	キシレン	9,352	9,352	—	—
384	106-94-5	1-プロモプロパン	3,914	3,279	—	635
53	100-41-4	エチルベンゼン	7,530	7,530	—	—
412	—	マンガン	4,559	—	—	100
296	95-63-6	1,2,4-トリメチルベンゼン	1,069	12	—	—
300	108-88-3	トルエン	4,533	4,533	—	—

(単位はkg)

#### (6) 事務所における環境保全の取り組み

		2017年度	2018年度	2019年度
総エネルギー使用量(燃料原油換算)	kl	291.4	283.7	<b>284.9</b>
電力	kl	211.0	208.2	<b>204.9</b>
燃料	kl	80.4	75.5	<b>80.0</b>
水使用量	m <sup>3</sup>	6,720	6,600	<b>6,309</b>
二酸化炭素排出量	t-CO	612.0	579.7	<b>599.3</b>
廃棄物発生量	t	397.3	371.1	<b>244.8</b>

## (7) 各事業所における環境目標と実績評価

### 【1】工場の2019年度環境目標の達成状況

環境目標 = 前年度に対して原単位当たりエネルギー使用量の1%削減

凡例: 😊 目標達成 ☹️ 目標未達成

工場部門	太田工場	新潟内燃機工場	新潟ガスタービン工場	新潟鑄造工場	相生事業所	ニコ精密機器	全体
達成の評価	☹️	☹️	😊	☹️	☹️	😊	☹️
2018年度	0.45 kl/百kW <sup>注1)</sup>	0.906 kl/百kW <sup>注1)</sup>	0.926 kl/百kW	0.55 kl/ton	13.499 kl/千h	6.204 kl/千h	対前年比 <sup>注2)</sup> 73.5%
2019年度	0.447kl/百kW <sup>注1)</sup>	1.056 kl/百kW <sup>注1)</sup>	0.796 kl/百kW	0.572 kl/ton	13.756 kl/千h	5.703 kl/千h	対前年比 100.2%
削減率	0.7% 削減	16.6% 増加	14.0% 削減	4.0% 増加	1.9% 増加	8.1% 削減	0.2% 増加

注1) 省エネ法に基づく定期報告書について、2020年提出時から、太田工場と新潟内燃機工場のエネルギー原単位の算出方法を変更しました。

注2) 2019年7月より統合した、相生事業所の値を含めて2018年度の全体に対する寄与度に、再算出したため、環境報告書2019掲載時と割合が異なります。

エネルギー使用量は原油に換算した使用量(kl)で表しています。

工場部門の原単位当たりのエネルギーは、太田工場、内燃機工場、ガスタービン工場では生産出力百kW当たりのエネルギー、鑄造工場では生産重量ton当たりのエネルギー、相生事業所では操業時間千h当たりのエネルギー、ニコ精密機器では機械稼働時間千h当たりのエネルギーで表しています。

全体の対前年度比は、エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度の合計値で表しています。

(省エネ法 定期報告書 様式第9(第17条関係)特定-第3表 備考3による)

### 【2】事務所部門の2019年度環境目標の達成状況

環境目標 = 電気使用量の前年度1%削減

凡例: 😊 目標達成 ☹️ 目標未達成

事務所部門	本社	北海道	東北	名古屋	大阪	九州	全体
達成の評価	😊	☹️	😊	☹️	😊	😊	😊
2018年度 千kWh	597.8	17.0	20.9	31.5	71.7	70.4	809.3
2019年度 千kWh	589.7	19.4	20.7	33.5	66.6	66.8	796.6
削減率	1.4% 削減	14.1% 増加	1.0% 削減	6.3% 増加	7.1% 削減	5.1% 削減	1.6% 削減

新潟支店は新潟内燃機工場の集計に含まれるため除外しています。

## (8) 環境会計

環境保全に関係した投資・費用を定量的に把握し評価するために、環境省の「環境会計ガイドライン2018年版」を参考に2019年度の環境会計データを集計しました。

2019年度は、下水管修理、電気炉のメンテ・修理などのコストが大きな割合を占めました。

(単位:百万円)

分類		取り組み内容	投資額 <sup>注)</sup>	費用額 <sup>注)</sup>
事業エリア内 コスト	公害防止コスト	下水管修理、コンプレッサーの点検・修理、局所排気装置自主検査、塗装ブース点検整備工事など	25.0	11.4
	地球環境保全コスト	ピストンライン設備導入、電気炉のメンテ・修理、工場天井LED照明、冷却水送水ポンプインバーター化など	100.4	7.5
	資源循環コスト	廃棄物定期処理など	2.0	53.5
上・下流コスト	グリーン購入に伴い発生した通常の購入との差額コスト	通箱製作など	1.8	—
管理活動コスト	環境情報取得、環境負荷監視及び事業所内美化	EMS 認証取得、サーベランス、騒音、水質等環境測定など	0.5	37.9
研究開発コスト	環境保全製品の研究開発及び製造段階における環境負荷抑制	船用ディーゼルエンジン排ガス規制対応研究、DF機関の性能・信頼性向上、VCR商品化開発など	4.6	2,299
社会活動コスト	事業所周辺を除く自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策のためのコスト	環境管理費	—	0.1
合計			134.3	2,409.4

注) 投資額は、償却資産への設備投資額のうち、環境保全目的の支出額。  
費用額は、環境保全を目的とした発生額。

環境保全対策による経済効果		売却量(t)	売却額(百万円)
有価物等の売却額①	鉄くず・切粉	2,166	30.4
有価物等の売却額②	木材、ダンボール、油性廃油	169	0.5

### 本報告書に関するお問合せ先

株式会社IHI原動機 末広町オフィス 品質保証室  
〒101-0021  
東京都千代田区外神田3-16-8  
秋葉原三和東洋ビル6階  
TEL 03-5289-4282  
FAX 03-5289-4289  
URL : [www.ihico.jp/ips/](http://www.ihico.jp/ips/)  
当社ホームページ内の「お問い合わせフォーム」よりお問合せください。